

人民币週間レポート

2026年3月6日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂銀行

【人民元為替概況】

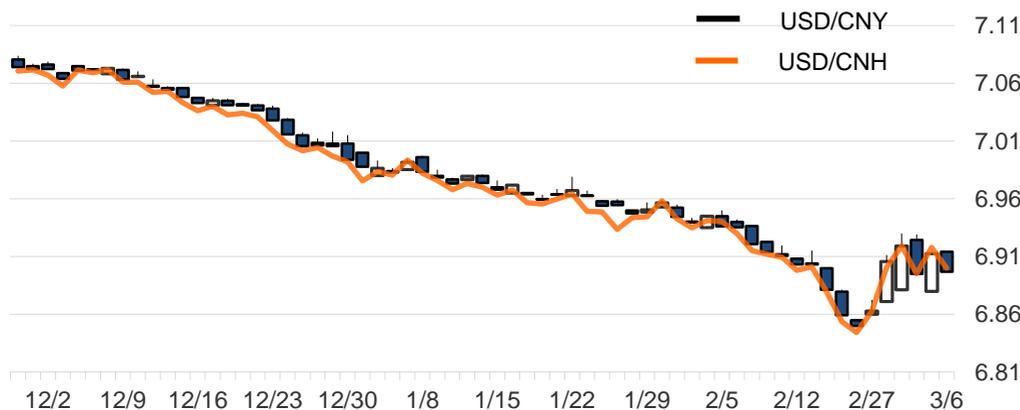
回顧: 中東情勢の緊迫化を背景にUSDCNYは一時6.92台まで上昇。

- ドル人民元 (USDCNY) は2日、6.87台前半でオープン。週末のイラン情勢の緊迫化を背景に、「有事のドル買い」からマーケット全般でドル買い優勢となる中、6.90台まで上昇。翌3日は6.88台前半でギャップダウンしてオープンするも、引き続き中東情勢の緊張が継続する中、一時6.92台後半まで上昇。翌4日は中国2月製造業/非製造業PMIが発表され市場予想をやや下回る結果となるも市場の反応は限定的。連日続く中東情勢を巡る懸念がやや後退する中、6.89台に下落。翌5日は全人代が開幕し、2026年の経済成長率目標が「4.5-5.0%」と前年比目標引き下げを発表。また金融政策スタンスは従来通りの方針が示され、追加緩和期待がやや後退したためかUSDCNYは6.88ちょうどでギャップダウンしてオープンするも、概ね市場予想通りの内容に材料消化後は徐々に元安方向に戻す展開。海外時間は原油価格上昇を背景に米金利上昇する流れの中、USDCNYは再び6.91台まで上昇。6日午前11時時点では6.90台前半で推移している。
- 円人民元 (JPYCNY) は2日、4.39台でオープン。中東情勢を背景にドル高円安が進行する中、JPYCNYは4.38近辺まで下落。3日は片山財務相より円安牽制発言が見られるなど、ドル円の水準的にも157円台後半をつける中、介入警戒感から積極的に上値追う展開とはならず、JPYCNYもレンジ推移。4日以降も明確な方向感なく、概ね4.37-4.39台でレンジ推移となった。6日午前11時時点では4.38台で推移している。

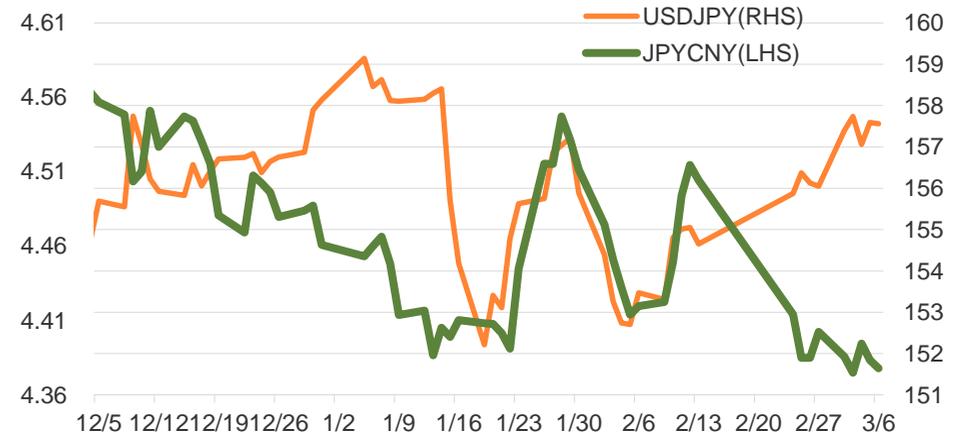
見通し: 短期的には引き続き中東情勢次第でドル高人民元安方向に動きには注意が必要

- 短期的には中東情勢に振らされる展開が予想され、今後のヘッドライン次第では一段と人民元安進行する可能性には留意が必要。また原油の供給懸念から原油価格が急騰しており、インフレ懸念からFRBの利下げ期待が剥落する動きとなれば、そちらもドル高人民元安の材料の1つになると思われる。FRBの今後の利下げペースに影響する観点では、今週6日に発表予定の米2月雇用統計もポイントとなるだろう。
- 今週の全人代の内容を受け、追加緩和期待がやや後退する中、中期的なトレンドは引き続き元高方向を見込むが、今週より外貨リスク準備金制度を実質撤廃するなど、元安圧力につながりやすい材料が散見されることもあり、引き続き動向を注意して臨みたい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

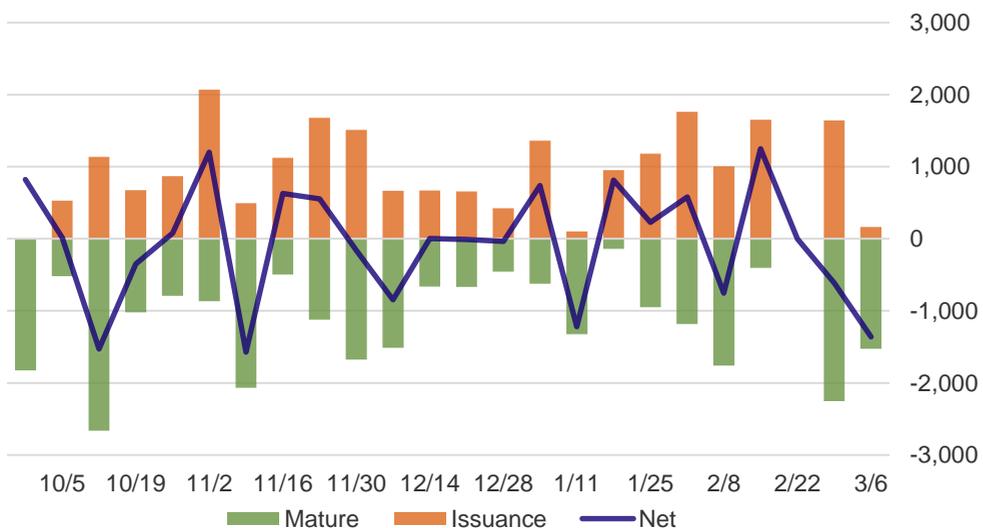
回顧: 短期資金市場は前週に続きネット資金吸収となるも流動性は引き続き潤沢

- PBOCは7日物リバースレポを行い、合計1,616億元の資金供給を実施。加えて6日には3か月物アウトライトリバースレポにより8,000億元の資金供給オペを実施。満期到来分とネットで1兆5,634億元の資金吸収となった。
- 短期市場は前週に続きPBOCの資金供給オペはネット資金吸収となるも、流動性は引き続き潤沢な状況が継続。O/N金利は1.27%近辺で推移。
- 債券市場は全期間で小幅に低下。2年債利回りは1.35%近辺、5年債利回りは1.54%近辺、10年債利回りは1.80%付近にて推移。

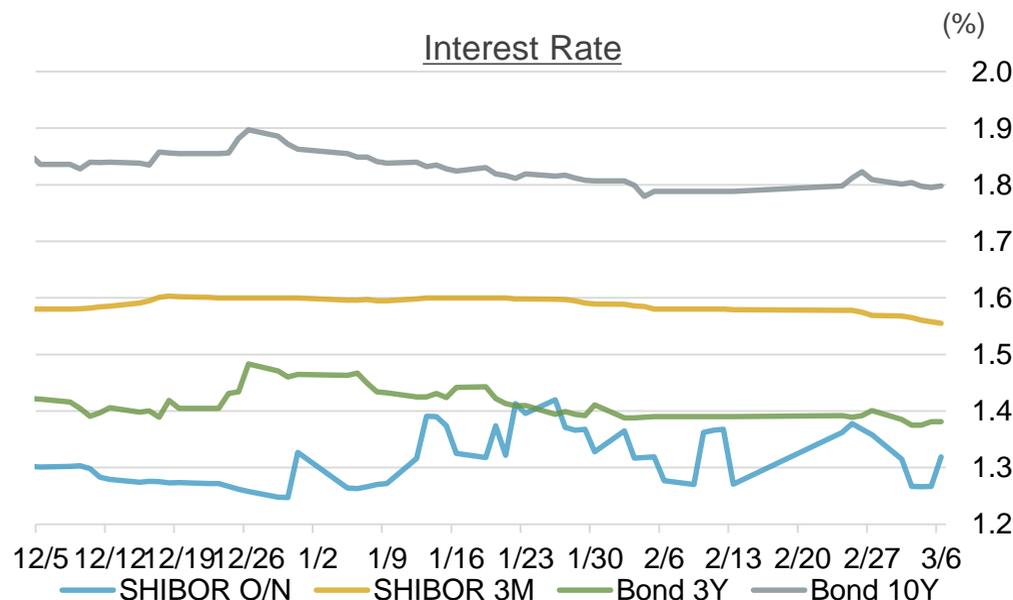
見通し: 全人代の内容を踏まえ、債券市場に金利上昇圧力がかかる展開には注意が必要

- 春節前に供給された資金の吸収が継続するも、流動性は引き続き安定している状況。かかる中、来週にかけても基本的には安定的な流動性が維持される可能性が高いと思われ、O/N金利は引き続き低位安定推移を見込む。
- 今週開幕した全人代において2026年の主要経済政策目標が発表された。GDP成長率目標が「4.5-5.0%」に前年比引き下げられ、また金融政策については「柔軟かつ効果的に政策ツールを活用」と従来通りのスタンスが示された中、追加緩和観測がやや後退した印象。かかる中、債券市場には金利上昇圧力がかかる可能性もあり、今後の動向には注意したい。
- 来週は9日に中国2月CPI/PPI(前年比)の発表が予定されており、足元の市場予想はCPI+0.9%(前回:+0.2%)、PPI▲1.1%(前回:▲1.4%)となっている。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



Interest Rate (%)



【TOPICS】 全人代 政府活動報告を公表

- 3月5日、全国人民代表大会(全人代)が開幕。2026年の実質GDP成長率目標は4.5%～5.0%に設定され、2023年以来となる目標引き下げとなった。政策目標達成に向けた取組みとして、「より積極的な財政政策」を実施する方針は変わらず、財政赤字の対GDP比率は前年同様に4%前後に設定され、財政赤字は5兆8,900億元を見込む。また地方政府による新規特別債発行は4兆4,000億元、10年超の超長期特別国債の発行は1兆3,000億元(それぞれ前年比変わらず)、国有大型商業銀行の資本注入に充てる特別国債の発行は3,000億元(前年比▲2,000億元)を計画する。
- その他の主要な経済政策目標としては、消費者物価指数(CPI)を+2.0%前後、都市部失業率を5.5%前後、都市部で1,200万人超の新規雇用創出を目指すことなどが盛り込まれた(それぞれ前年比変わらず)。
- 金融政策については「適度に緩和的な方針」を示す中、政府活動報告においても預金準備率と政策金利の引き下げを含む、様々な政策ツールを柔軟かつ効果的に活用することが示された。また人民元相場については「均衡為替レートに沿った安定的な推移を保つ」方針が改めて示された。
- 政府活動報告で示された2026年の重点項目の最上段には「内需主導を堅持し、消費の促進と投資の拡大を推し進める」ことが記載された。政策目標達成に向けて最重点項目に位置づけられる内需拡大に対する当局の今後の動向を注視しておきたい。

主要経済政策目標

	2022	2023	2024	2025	2026
実質GDP成長率	5.5%前後	5%前後	5%前後	5%前後	4.5-5.0%
財政赤字 対GDP比率	2.8%前後	3.8% ※	3.0%	4%前後	4%前後
消費者物価指数	3.0%前後	3.0%前後	3.0%前後	2.0%前後	2.0%前後
失業率(調査ベース)	5.5%未満	5.5%前後	5.5%前後	5.5%前後	5.5%前後
都市部新規雇用	11百万人超	12百万人前後	12百万人以上	12百万人以上	12百万人以上

※ 2023年10月、改訂予算で当初目標の3.0%から3.8%へ引き上げ実施

財政政策運営

	2025	2026	前年比
財政赤字(一般公共预算)	5兆6,600億元	5兆8,900億元	+2,300億元
地方政府特別債 新規発行額	4兆4,000億元	4兆4,000億元	±0
超長期特別国債	1兆3,000億元	1億3,000億元	±0
特別国債 (大手行資本注入)	5,000億元	3,000億元	-2,000億元
新規政府債務	11兆8,600億元	11兆8,900億元	+300億元

【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
3/2	6.8710	6.9110	6.8645	6.8855	6.9236
3/3	6.8814	6.9297	6.8750	6.8997	6.9088
3/4	6.9245	6.9288	6.8916	6.9120	6.9124
3/5	6.8800	6.9125	6.8760	6.9003	6.9007
3/6	6.9142	6.9142	6.8953	6.8981	6.9025

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
3/2	6.8661	6.9133	6.8621	6.9010	6.8670
3/3	6.9010	6.9437	6.8751	6.9194	6.8806
3/4	6.9194	6.9351	6.8886	6.8951	6.9215
3/5	6.8952	6.9286	6.8780	6.9180	6.8891
3/6	6.9180	6.9180	6.8968	6.9002	6.9063

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	3/2	LOW	HIGH	3/6
ON	1.3150	1.2660	~	1.3190
1M	1.5500	1.5417	~	1.5417
3M	1.5678	1.5548	~	1.5548
6M	1.5820	1.5660	~	1.5660
1Y	1.5994	1.5848	~	1.5848

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.8710	6.9297	6.8645	6.8981
100JPY/CNY	4.3922	4.3977	4.3710	4.3778
EUR/CNY	8.0960	8.1029	7.9889	8.0059
HKD/CNY	0.87777	0.88680	0.87750	0.88157
GBP/CNY	9.2343	9.2424	9.1772	9.2195

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	156.04	157.97	155.85	157.59
EUR/USD	1.1783	1.1796	1.1530	1.1609
EUR/JPY	183.36	184.69	182.03	182.93
GBP/USD	1.3463	1.3463	1.3253	1.3357
AUD/USD	0.7085	0.7123	0.6944	0.7008

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行